

シンポジウム

『科学者・技術者の倫理と社会的責任を考える』

共催: 応用物理学会・化学工学会・情報処理学会・大気環境学会・電気学会・電子情報通信学会・土木学会
日本化学会・日本機械学会・日本技術士会・日本建築学会・日本原子力学会・日本農芸化学会
日本薬学会・日本分子生物学会

後援: (予定) 日本学術会議

- 日時 平成17年3月28日(月) 13:00~16:50
- 会場 神奈川大学横浜キャンパス・16号館(日本化学会第85春季年会会場)

科学者・技術者コミュニティである学協会は、人類の安全・健康、福祉の増進や環境保全のために重要な役割を果たすことが期待され、「行動規範」「科学者・技術者倫理」の確立が社会から受容される必要条件になっている。加えて、近年は大学の法人化と大学発ベンチャー等に係る知的財産権の問題などもクローズアップされ、先般、日本学術会議では科学におけるミスコンダクトについて对外報告を発表するなど、科学者・技術者コミュニティの社会に対する責任が重大な問題になってきている。本シンポジウムでは、科学者・技術者の倫理憲章や行動規範等を策定している学協会の、この問題に対する取り組みの現状を話題提供していただき、科学者・技術者の倫理と社会に対する責任について考えてみたい。

●プログラム

総合司会(日本化学会倫理委員会委員長) 井上 祥平 氏

開会挨拶(13:00~13:10)

(日本化学会平成16年度会長) 御園生 誠 氏

基調講演(13:10~13:50)

『歴史的にみた科学者・技術者の倫理』(仮題)

(恵泉女学園大学教授・東京理科大学名誉教授) 古谷 圭一 氏

話題提供(13:50~15:30) ※講演時間1件25分。

『技術者倫理に関する日本機械学会の取り組み』

(日本機械学会技術倫理委員会委員長) 斎藤 忍 氏

『技術者倫理に学協会はどのように取り組むべきかー土木学会を事例として』

(土木学会教育企画人材育成委員会委員長) 池田 駿介 氏

『外圧によって始まった情報処理学会の倫理綱領規定』

(情報処理学会アクレディテーション委員) 米田 英一 氏

『プロフェッショナル・エンジニアの倫理規定の使い方』

(日本技術士会) 高城 重厚 氏

総合討論(15:45~16:45)

基調講演者および話題提供者、司会(日本化学会倫理委員会委員長) 井上 祥平 氏

閉会挨拶(16:45~16:50)

(日本化学会倫理委員会委員) 富永 健 氏

●参加費 無料。資料代 500円(予価)

●申込方法: ①氏名、②所属・役職、③連絡先(〒、住所、電話番号、FAX番号、e-mail)を明記し、e-mailで下記あてお申し込みください。申込者には参加証を送付します。

●申込先: 101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5 (社)日本化学会企画部 太田(電話: 東京(03)3292-6163、FAX: 東京(03)3292-6318、e-mail: oota@chemistry.or.jp)